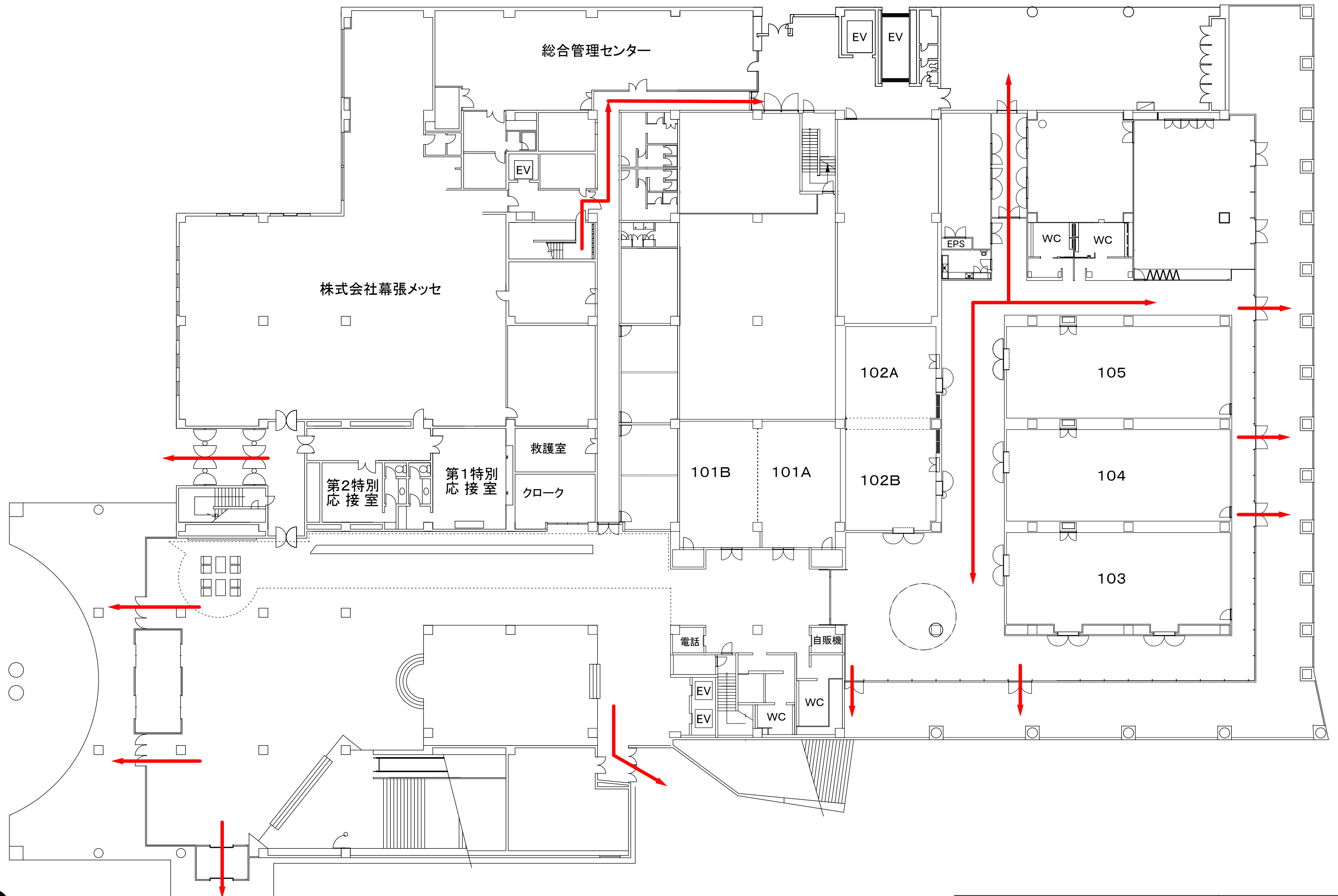


巨大地震発生時の対応の基本事項について (国際会議場)

- 幕張メッセは新耐震基準を満たす建物であり、大きな地震でも倒壊することはありませんが、会場内の状況により、外構へ来場者の一時避難が必要かどうかについては主催者で判断をお願いします。(※大津波警報発令時は除く)
(外構へ避難をさせる際は、主催者が中心となり、十分な安全確保の上お願いいたします。)
- 火災及び津波を伴わない地震では、幕張メッセの敷地外までの避難は不要です。
- 東京湾内湾に3mを越す大津波警報発表の際は、念のため、幕張メッセの外構を経由して高台（中央プラザ、スカイウェイ、メッセモール等）への誘導をお願いします。
(国の中央防災会議「首都直下地震対策専門委員会」では東京湾に直下型地震が発生した時の津波の高さは50cm未満と予測されています。また、幕張メッセ周辺を含む東京湾岸には平均海面から5mの高さまで防潮堤が設置されています。)
- 避難経路は、「国際会議場 避難経路図」（別添参照）をご参照ください。
- 震度4程度以上の揺れを感じた場合は、アナウンスを当社より実施します。
- 催物の開催の継続、中止の判断は主催者と当社で協議し決定させていただきます。
- 帰宅困難となった来場者が千葉市の指定する避難場所（別添参照）へ避難するか、幕張メッセ内で待機するかについては、各来場者に判断していただいでください。なお、幕張メッセにおける帰宅困難者の受け入れについては地震発生後早急に検討をいたします。
- 幕張メッセは停電の際、即非常灯が点灯し、その後40秒以内に自家発電による電気が供給され、数時間は最低限の照度が確保されます。トイレの利用も可能となりますのでご安心ください。

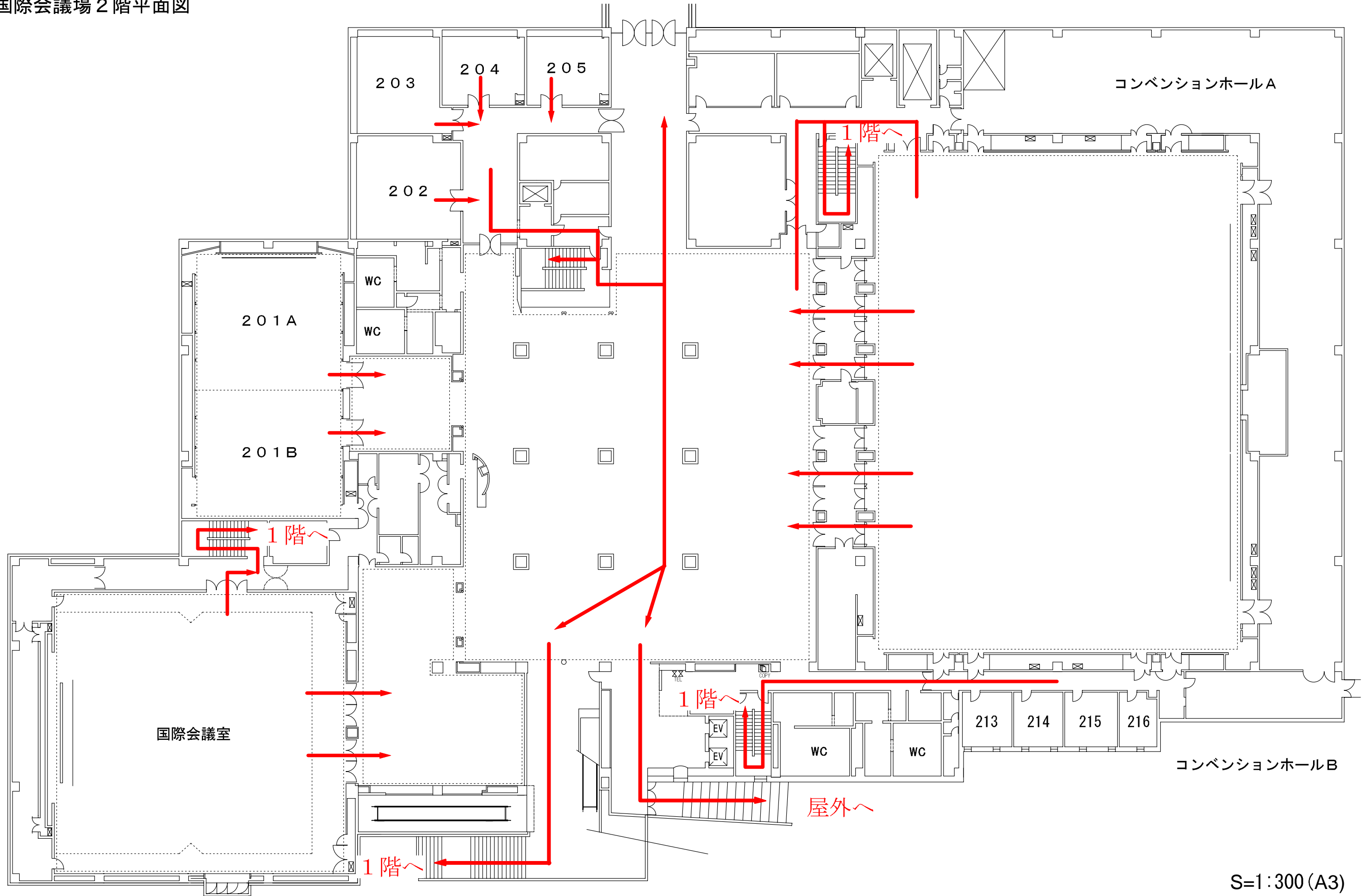
※ 詳細な対応については、別途担当者が協議させていただきます。

国際会議場 1階 避難経路図

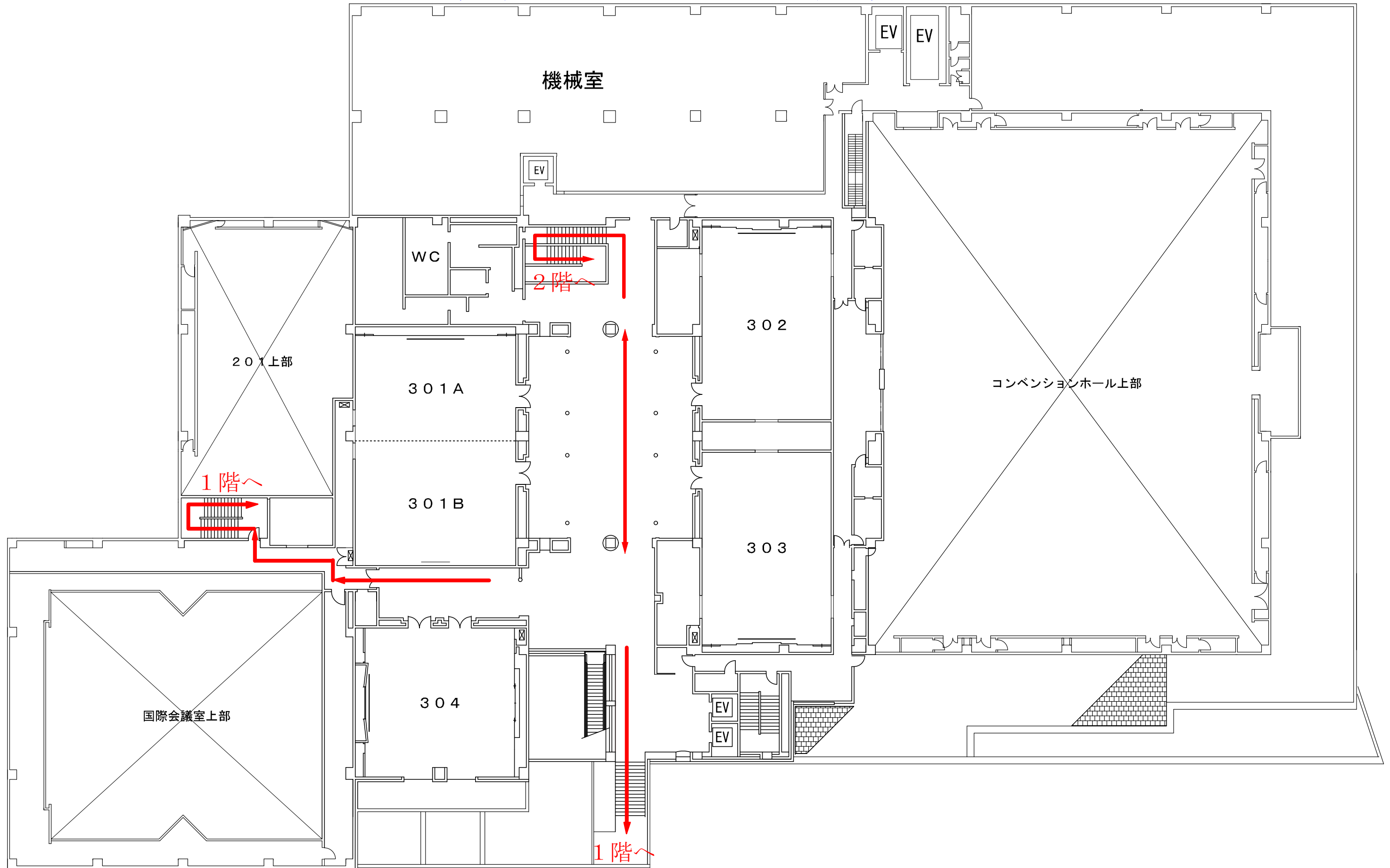


国際会議場 2階 避難経路図

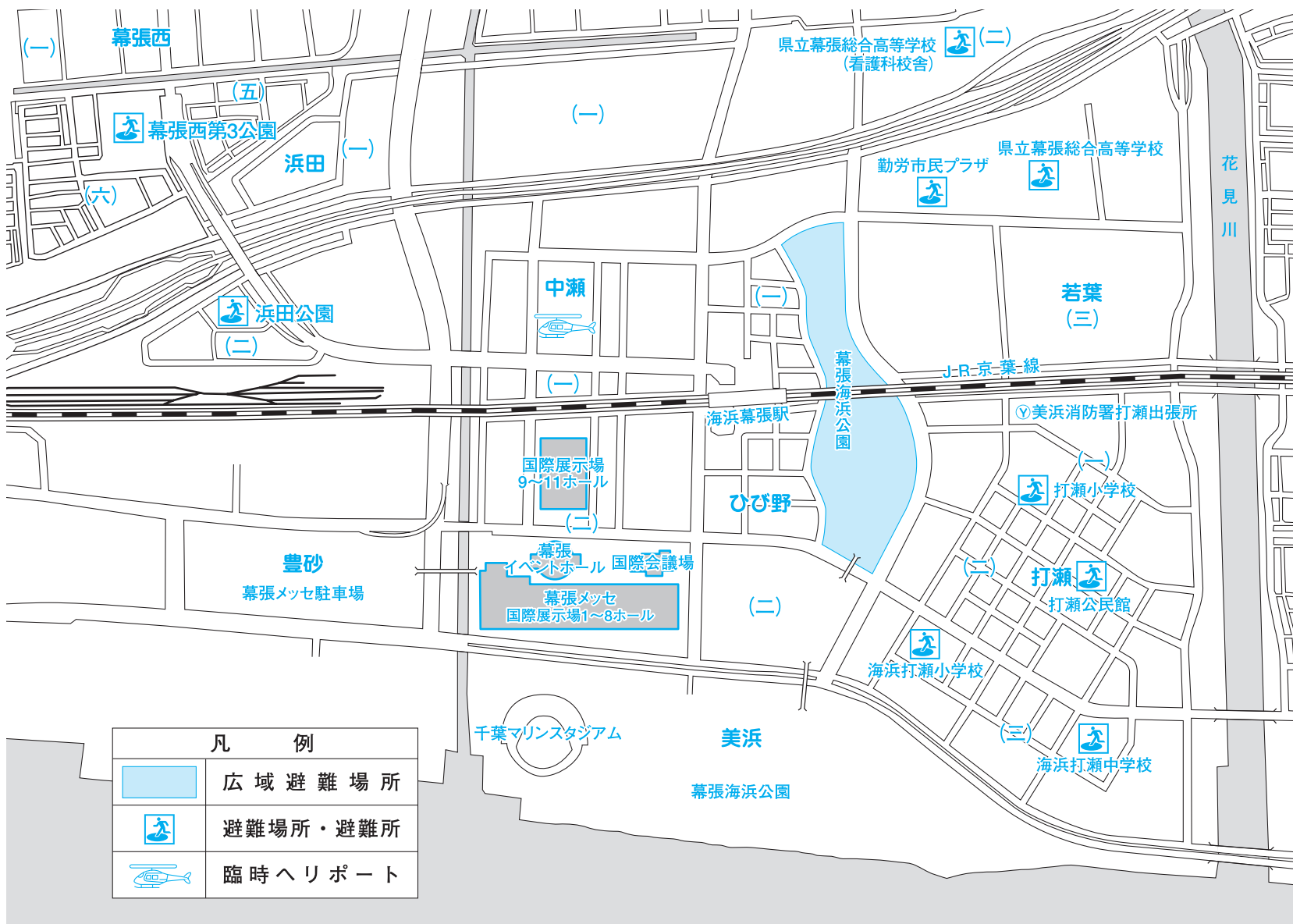
国際会議場 2階平面図

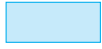



国際会議場3F 避難経路図



幕張メッセ周辺防災マップ



凡 例	
	広域避難場所
	避難場所・避難所
	臨時ヘリポート